

5Sが変われば会社も変わる！

～本当に成果のでる真5Sの実践研修～

研修の概要

5Sは企業活動の基本といえますが、意外にできていない企業が多いのではないのでしょうか？

時々「そんなことは、もうとっくにやったよ！」という声を耳にします。しかし実際は、やったつもりになっていることも多いようです。もちろん、そうでない会社もあるでしょう。5S活動は、本気でやれば成果は得ます。いまこそ原点に戻り、5Sの基本からもう一度やり直してみませんか？

●実際の研修は、事前打合せを通じてご要望と実務・実情に合わせた貴社独自のプログラムをつくりまします。つまり画一的な研修ではなく、オーダーメイドになります。お気軽にお問合せください。

●対象：新人若手社員・中堅社員・管理職など

研修の目的

■「5Sはすでにやっている」とお答えいただくことが多いと思います。しかし、5Sの効果を実感できているかと問われるとどうでしょう。

今回の研修では、**振り返り**が**新しい気づき**へのきっかけとなり、5Sの基本を再確認しながら、継続化、定着化の原点となる問題の発見力を養い、**工夫**と**知恵**を実務に使えることを目指します。

講師

グロマコン埼玉 代表
日本経営士協会 理事

ひわたし ひろし
経営士 **樋渡 弘 氏**



講師紹介

現場に答えがあるから現場主義を貫く、樋渡流のコンサルティング手法は経営の基本を大切に「あたりまえのことがあたりまえにできること」です。理論だけでなく、豊富な現場経験から実務を重視したコンサルティングを、数多く実践してきました。現場重視の生産効率改善や工場の現場改善には定評があります。

また人材育成を得意とし、育成の一つの方法となる社員研修では独自のプログラムを開発しその評価は高い。特に「ロジカル・シンキング」を利用した業務の問題・課題解決力を高めるプログラムは好評で、「自ら考え自ら行動できる人材」の育成を目的とした独特な参加・体感型となっています。最近では、中小企業で問題となっている次世代への後継者の育成にも力を入れています。

講演・セミナー・研修実績多数、中小企業を専門とした経営コンサルタント。一方では、コンサルタント養成講座の講師も5年目となり、全国から集まるその受講者総数は1,000名を超える。

研修のプログラム例(1日)

10:00	1. 真5Sはなぜ必要なのか？ (講義)
11:00	2. 課題A ～振り返り～ (グループワーク) ・ 5Sができないのはどうしてなのか？ ・ 5Sはなぜ継続できなかったのか？
12:10	◇昼食休憩
13:10	3. 課題B ～対策立案～ (グループワーク) ・ 課題Aはどうすれば解決するか？
14:10	4. 結果発表と対策共有 (全体討議)
14:40	5. 全ては5Sから始まる (講義)
15:30	6. 課題C ～行動～ (グループワーク) ・ 対策案の実現化にやるべきことは？
16:30	7. 本日のまとめ (17:00終了)

研修効果を出す3つの特長

- ① “気づき”を与え「わかった」を「できる」にする。
※独自のワークスタイルで、自然な気づきの仕掛けがある
- ②実際に現場で役立つ内容に個別対応する。
※実務重視型で、貴社独自のプログラムになる
- ③フォローアップと定着化
※研修後の定着化へのフォローのご提案

GLOMACON コンサルタントの精鋭集団
グロマコングループ **グロマコン埼玉**

当社代表の樋渡 弘氏が、野田商工会議所主催の「社長塾」で講師をつとめます！

担当：樋渡 弘 (ひわたしひろし) → 直通090-4660-9841

◇問合せ専用メールアドレス → hiwatashi@glomacconj.com

〒350-2203 埼玉県鶴ヶ島市上広谷 382-1-505 TEL/FAX : 049-279-6590

グロマコン埼玉 <http://www.glomacconj.com/glsaitama/>

グロマコン本部 <http://www.glomacconj.com/>

真5S研修プログラム例 (2日タイプ)

研修のプログラム例 (1日目) ※事前打合せ後30日以内実施

10:00~11:00	1. 真5Sはなぜ必要なのか?	(講義)	60分
11:00~12:10	2. 課題A ~振り返り~ ①5Sができないのはどうしてなのか? ②5Sはなぜ継続できなかったのか?	(グループワーク)	70分
12:10~13:10	◇昼食休憩		60分
13:10~15:10	3. 課題B ~対策立案~ ③課題Aはどうすれば解決するか? ④具体的な解決策(対策案)を整理しまとめる	(グループワーク)	120分
15:10~15:20	◇休憩		10分
15:20~16:00	4. 対策案発表と対策共有	(全体討議)	40分
16:00~17:00	5. 課題C ~行動~ ⑤対策案の実現化にやるべきことは何か? ⑥次回研修までに誰が何をやるのか?	(グループワーク)	60分
17:00~17:30 (注:後日提出)	6. 5Sの定着化のポイント (本日のまとめ) 7. 次回研修までの具体的な5S実施計画を提出	(講義) (注:打合せ時に相談)	30分

研修のプログラム例 (2日目) ※1日目終了から40~60日後実施

10:00~10:30	1. 成果のでる5Sに変える	(講義)	30分
10:30~12:10	2. 課題D ~振り返り~ ①5Sの実施効果にはどんなことがあるか? ②課題Cの実施後、どんな問題点があったか?	(グループワーク)	100分
12:10~13:10	◇昼食休憩		60分
13:10~14:10	3. 課題E ~対策立案~ ③課題Dの新しい問題はどのように解決できるか?	(グループワーク)	60分
14:10~15:10	4. 課題F ~身近な課題~ ④机の引き出しの整理はどのようにすればよいか?	(グループワーク)	60分
15:10~15:20	◇休憩		10分
15:20~16:20	5. 課題EとF発表と対策共有	(全体討議)	60分
16:20~17:30 (注:後日提出)	6. 見える化への取り組み (本日のまとめ) 7. 今後の5S実施計画を提出 (各人またはチーム)	(講義) (注:打合せ時に相談)	70分